山口誓子 俳人。新興俳句運動の先導的役割を果たし、昭和俳句の歩みの基盤と方向を決定づけた。

やまぐちせいし

田中正造直訴1901 = 京都市上京区で、山口新助の子に生まれる。母は岑子。本名新比古。
教科書疑獄・1902 = 1歳：父が大坂転勤となり、外祖父に養育を託される。

日露戦争終・1905 = 4歳：

韓国併合・1910 = **9歳**：

大逆事件判決1911 = 10歳：母が死去。

明治天皇没・1912 = 11歳：外祖父が樺太日日新聞社長となり、樺太に渡る。

第一次大戦始1914 = 13歳： **樺太の大泊中学校に入学。**
上級生と俳句の回覧雑誌{実の生るまで}を出す。

ロシア革命・1917 = 16歳：京都に戻り、府立第一中学校に転校。

第一次大戦終・1918 = **18歳**： **第三高等学校文科乙類に入学。**

大暴落・1920 = 19歳： **日野草城らの京大三高俳句会に加入、{ホトトギス}に投句を始め、誓子の号を用いる。**

原敬首相暗殺1921 = 20歳： **{ホトトギス}に初入選、**

水平社結成・1922 = 21歳： **高浜虚子に初対面。東京大学法学部独逸法律学科に入学し、東大俳句会に出席し、**
水原秋桜子に兄事、師事。

護憲三派圧勝1924 = 23歳：高文受験のため洛北の村に籠もるも、肺炎カタルとなり、転地療養。

日本時代始・1926 = 25歳： **卒業。大阪の住友合資会社に入社。初めて浅井家の句会に出席。**

金融恐慌・1927 = 26歳： **{ホトトギス}課題選者となり、水原秋桜子、阿波野青歎、高野素十と共に4Sと並称される。**

共産党事件・1928 = **27歳**： **外祖父が死去。弟子波津女と結婚。**

海軍軍縮条約1930 = 29歳： **川田順が直属の上司となる。**

満州事変・1931 = 30歳：

五一五事件・1932 = 31歳： **処女句集「凍港」刊行、**

国際連盟脱退1933 = 32歳： **{京大俳句}創刊され顧問となる。**

帝人疑獄事件1934 = 33歳： **満州に出張。**

芥川直木賞始1935 = 34歳： **{「黄旗」を上梓、青年俳人に多大な影響を与えて新興俳句運動の先導的役割を果たす。{ホトトギス}を離れ{馬酔木}に参加、有季定型の立場をとり無季新興俳句とは一線を画した。急性肺炎で重態となる。**

日中戦争始・1937 = **36歳**：

健保+総動員 1938 = 37歳： **「炎昼」を刊行。体調不良で会社を長期欠勤。**

日米開戦・1941 = 40歳： **内面を凝視する沈潜した句風に転じ、**

病気好転せず、伊勢富田に移住。

・1942 = 41歳： **「七曜」を刊行。住友を退職し、囑託となる。**

敗戦・1945 = 44歳： **空襲で大阪の自宅が焼失。敗戦後、父が死去。**

新憲法公布・1946 = **45歳**： **四日市に移住。*象徴的作品「激浪」を刊行。**

新憲法施行・1947 = 46歳： **「遠星」、「晩刻」刊行。**

極東裁判判決・1948 = 47歳： **俳誌{天狼}を創刊。虚子が見舞いに来訪。鈴鹿に移住。**

三大事件・1949 = 48歳： **「妻」を刊行。**

独立回復・1951 = 50歳： **「青女」を刊行。この年、妻が第一句集を刊行。**

TV放送始・1953 = 52歳： **台風13号の被害を受け、西宮に転居。**

55年体制始・1955 = **54歳**：

国連加盟・1956 = 55歳： **大阪市民文化賞。**

なべ底不況・1957 = 56歳： **{朝日俳壇}の選者となる。**

安保闘争・1960 = 59歳：

東京初北のツカ 1964 = **63歳**： **この頃から、妻とともに全国各地を旅行。**

大阪万博・1970 = 69歳： **香港・アンコールワットを訪れ、以後、世界各地を旅行。紫綬褒章。**

石油ショック1973 = **72歳**：

田中角栄逮捕1976 = 75歳： **勲三等瑞宝章。**

JALのジャック・1977 = 76歳： **「山口誓子全集」全10巻。**

中曽根内閣・1982 = **81歳**：

ジャンボ機墜落1985 = 84歳： **妻が死去。**

1987 = 86歳： **芸術院賞。**

バブル崩壊・1992 = 91歳： **75年ぶりにサハリンを訪れる。文化功労者。**

1993 = 92歳： **{天狼}を終刊し、**

自社さ連立・1994 = 93歳： **没した。**

「この人どんな人」、平凡社百科事典、インターネット、